



このたびは、卓上形増設用アンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保管してください。

目次

安全上のご注意	2,3
各部の名称と説明(前面)	4
各部の名称と説明(後面)	4
BXシリーズとの接続方法	5
リモートマイクRMM-101及びページングユニットとの接続方法	5
ミキサーアンプとの接続方法	5
スピーカー回線(ハイインピーダンス100系)との接続方法	6
相互接続図(例)	6
非常制御端子について	7
スピーカーの接続方法	8,9
故障かな?と思われましたら	10
ノイズ対策について	10
外観寸法図	10
定格	11
サポートのご案内	12
保証書	12

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音ができる、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐためケースに通気孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

- 本機を横倒しや逆さま、あお向けにする。 ○本機を押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する



この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器を水滴のかかる場所に置かない

中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。



雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



電源コンセントに接続する機器の消費電力の合計は、機器に表示しているW数またはA数を超えない

火災の原因となります。音響機器以外は接続しないでください。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



本機を電源コンセントの近くに置いて使用する

万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにして使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



濡れた手で、電源コードを抜き差ししない

感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



この機器に乗ったり腰掛けたりしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



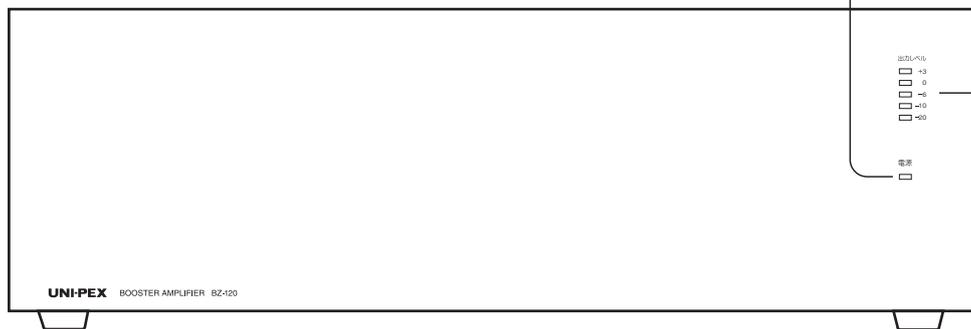
設置・使用上のご注意

- 入力線と出力線は近づけずと発振する恐れがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 直射日光の差し込む場所、温度の高くなる所には設置しないでください。また、湿度・ほこり及び振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。
- 本機を雑音発生の原因になる機器*の近くには設置しないでください。
*高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

各部の名称と説明

電源表示灯(緑)

電源が入ると緑色に点灯します。



電源スイッチ

押すと電源が入ります。再度押すと切れます。また、電源が入っていない状態でも待機のための電力を消費します。

ご注意

BXシリーズやリモートマイクRMM-101などの電源起動端子と接続して他の機器より電源を起動する場合は、このスイッチを必ず「切」にしてください。「入」の状態では他の機器より電源を起動しますと接続されたスピーカーが破損する場合がありますのでご注意ください。

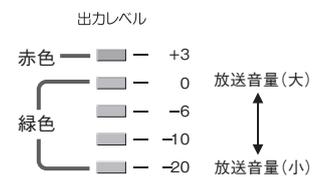
入力感度調節器

増設入力端子と100系入力端子の入力感度が同時に調節されます。出荷時、入力感度は最大位置(-2dBV)に設定されています。左にまわすと入力感度が低くなり、音量が小さくなります。

入力感度



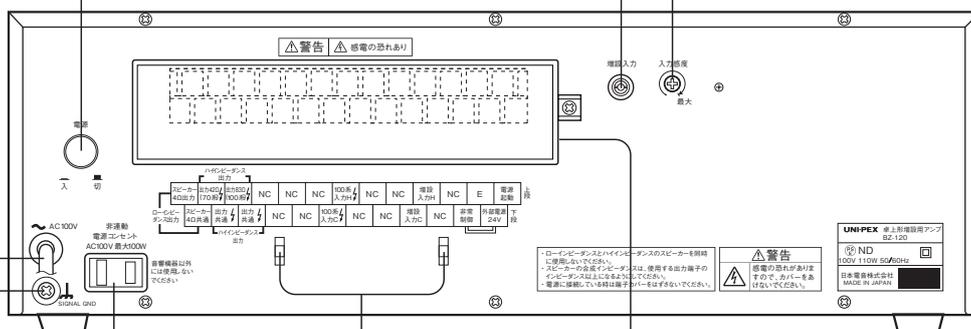
出力レベル表示灯



出力レベルの表示をします。緑色(0dB~-20dB)表示内が適正範囲です。連続して赤色(+3dB)が点灯しないように各音量を調節してください。

電源コード

電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。



束線バンドホルダー

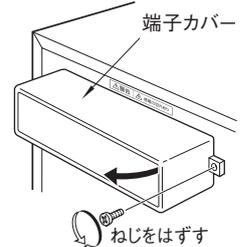
電源コンセント(非連動)

音響機器以外は接続しないでください。

警告 接続する機器の消費電力の合計が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。また、本体機器保護用ヒューズが溶断する場合があります。

端子カバー

このカバーを取りはずすと内側に端子板があります。スピーカーなどを本機に接続される時は、後面の端子カバーを右図の要領ではずしてください。端子板の接続が終われば必ずこのカバーを取付けてください。



アース端子(雑音低減用)

この端子は他の音響機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

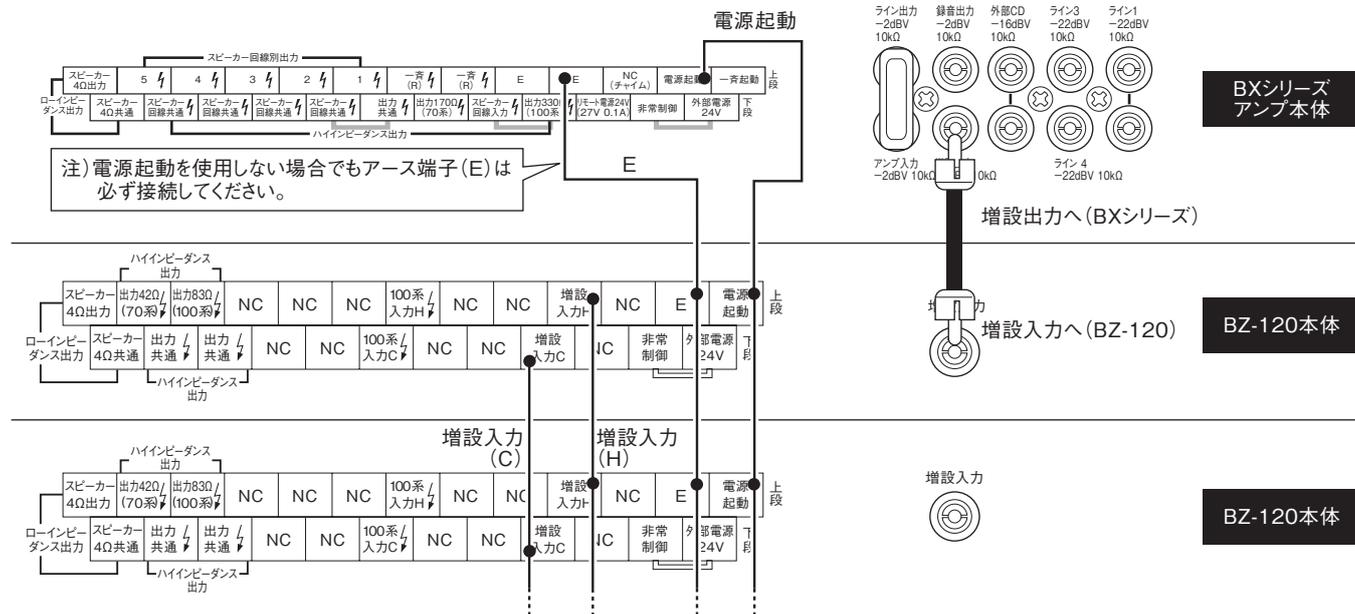
警告

端子カバーをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。ご使用中は、感電の恐れがありますので、端子カバーをはずさないでください。

BXシリーズとの接続方法

○図のように配線してください。

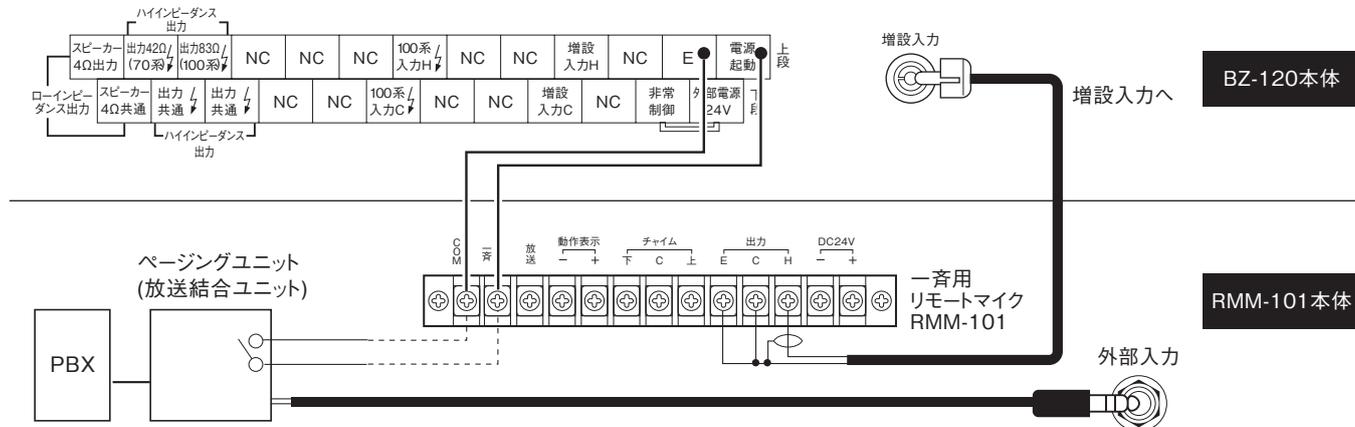
○BXシリーズの電源スイッチを入れますと、本機の電源が「入」になります。



リモートマイクRMM-101及びページングユニットとの接続方法

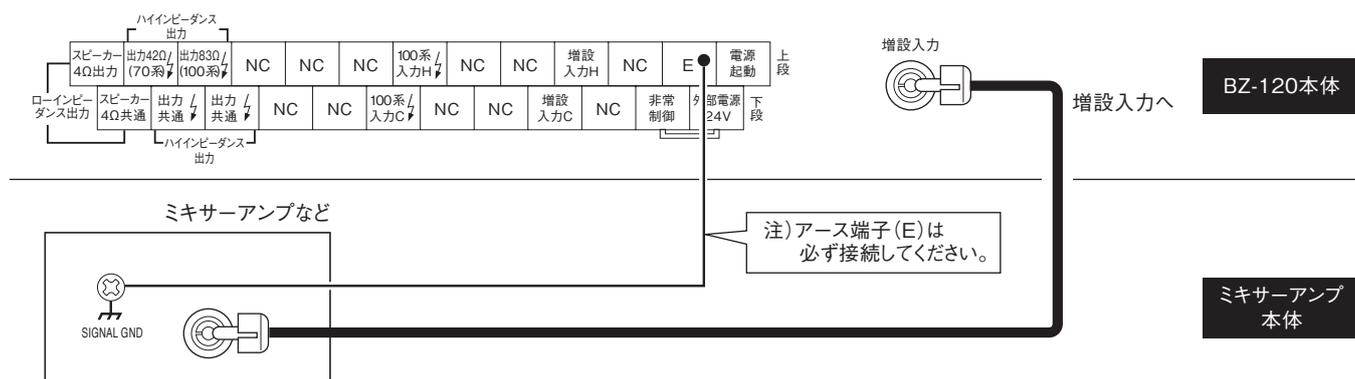
○図のように配線してください。

○RMM-101の各スイッチを入れますと、本機の電源が「入」になります。



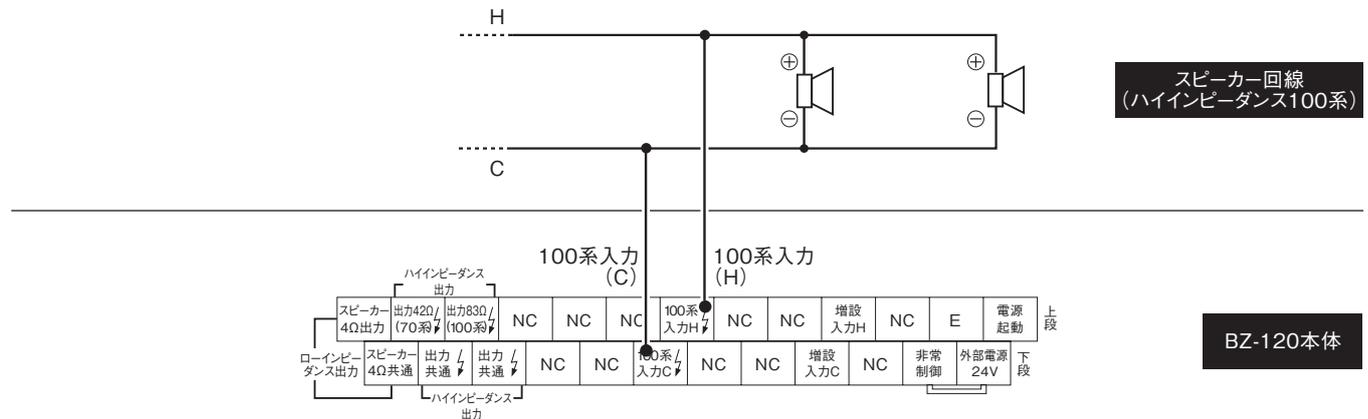
ミキサーアンプとの接続方法

○図のように配線してください。



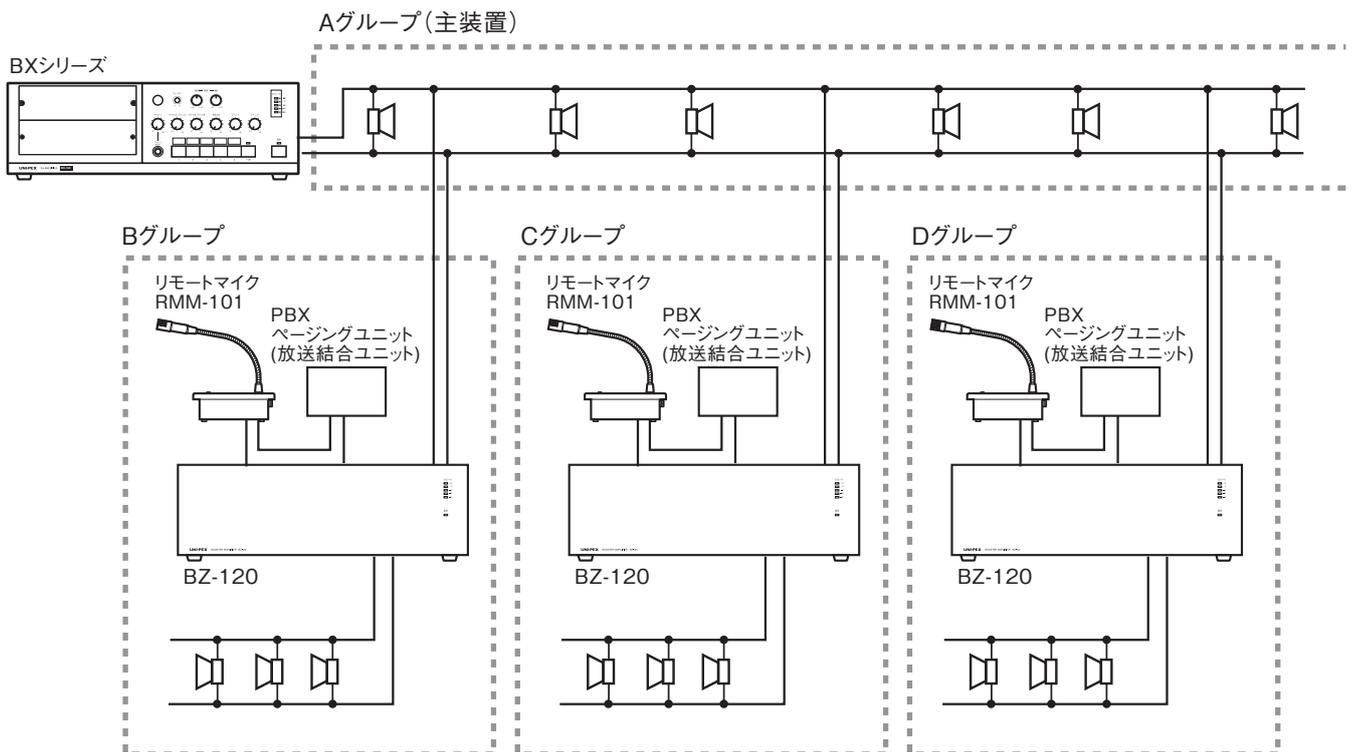
スピーカー回線(ハイインピーダンス100系)との接続方法

○図のように配線してください。



相互接続図(例)

- 主装置BXシリーズの増設用アンプとして、または本機を単独でグループ別に放送ができます。
- グループ別に放送する場合は、本機に一斉用リモートマイクRMM-101を接続してください。またPBXのページングユニット(放送結合ユニット)も接続可能です。



- Aグループ(主装置)の放送と各グループの放送はミキシング放送されます。
- 各グループ単独放送のときは、Aグループ(主装置)が中断しているときに放送してください。
- 本機の入力感度調節器は、Aグループ(主装置)からの入力音量と、本機に接続されたリモートマイクやページングユニットからの入力音量を同時に調節します。
- PBX(交換機)のページングユニットと接続することによりページング放送ができます。
- BグループとCグループ、Dグループ間でのミキシング放送はできません。

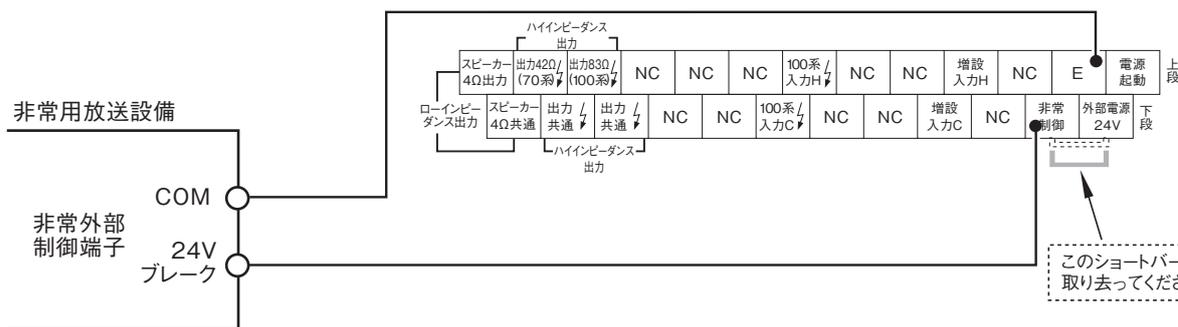
非常制御端子について

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事に依頼してください。

○非常用放送設備からの信号（常時DC24V受電、非常時遮断または非常時無電圧ブレーク接点）で非常時に本機の電源を「切」にすることができます。

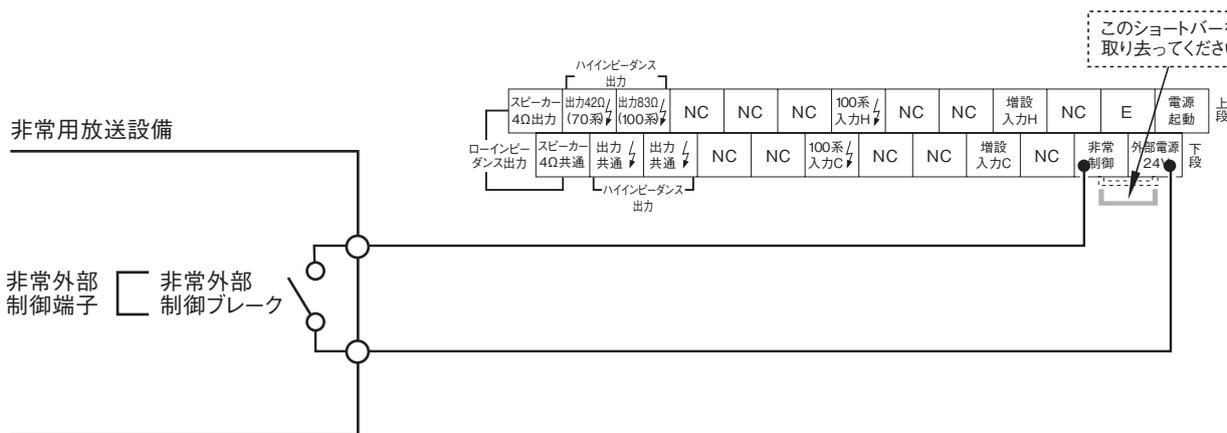
常時DC24V受電、非常時遮断の場合

- ①本機の端子台の「非常制御」-「外部電源24V」間のショートバーを取りはずしてください。
- ②非常用放送設備の非常外部制御端子の「24Vブレーク」を本機の「非常制御」「E」と図のように接続してください。



非常时无電圧ブレーク接点の場合

- ①本機の端子台の「非常制御」-「外部電源24V」間のショートバーを取りはずしてください。
- ②非常用放送設備の非常外部制御端子を本機の「非常制御」「外部電源24V」と図のように接続してください。



ご注意

非常遮断制御端子の使用時以外は、ショートバーをはずさないでください。はずすと電源が入りません。

スピーカーの接続方法

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事に依頼してください。

○スピーカーを接続される時は、後面の端子カバーを左図の要領ではずしてください。内側に端子板があります。端子板の接続が終われば必ずこのカバーを元どおり取付けてください。

警告 端子カバーをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。ご使用中は、感電の恐れがありますので、端子カバーをはずさないでください。

ハイインピーダンススピーカーの接続

○接続できるスピーカーは下表のとおりです。

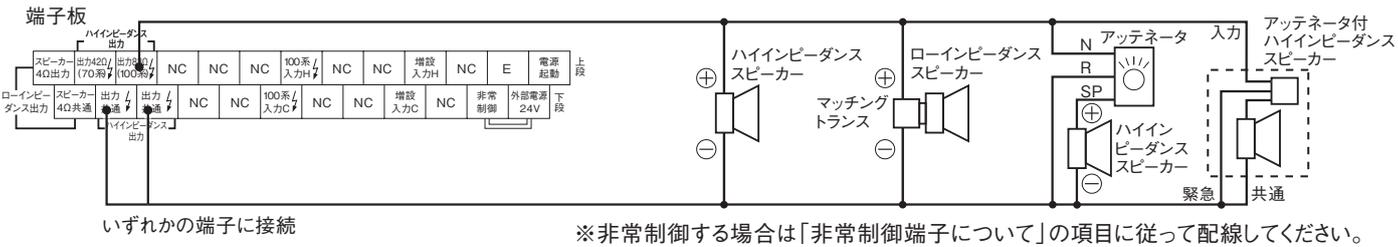
出力端子	適合負荷インピーダンス	スピーカーの必要容量
出力83Ω(100系)	83Ω以上	スピーカー(トランス付)の合計容量が120W以内
出力42Ω(70系)	42Ω以上	スピーカー(トランス付)の合計容量が240W以内 ※1

※1 42Ω端子にハイインピーダンスのスピーカーを接続すると、スピーカーに加わる電力は表示電力の半分になります。(例. 1kΩ 10W→5Wへ)

特にご注意ください..

- スピーカーの合成インピーダンスが、アンプの適合インピーダンスより小さくならないようにしてください。
- スピーカーの合計W数はアンプの定格出力以下にしてください。
- ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。
- ハイインピーダンス100系と70系を同時に使用することはできません。
- 感電に注意!**出力端子には、定格出力時に次に示す電圧がかかります。
 - ・約100V(出力83Ω)/約70V(出力42Ω)

接続例



接続するスピーカー

アッテネーターなしの場合

マッチングトランスとローインピーダンススピーカーの組み合わせ

アッテネーター別付の場合

入力端子
緊急端子
SP端子

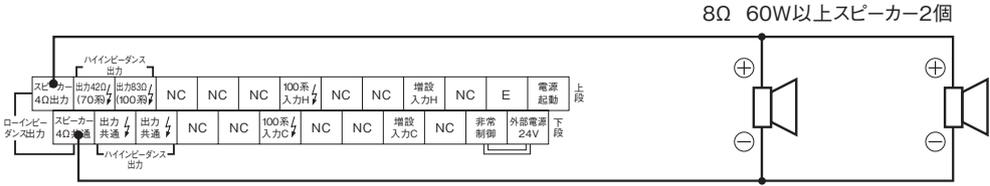
アッテネーター付の場合

入力端子
緊急端子
共通端子

ローインピーダンススピーカーの接続

適合負荷インピーダンス	スピーカーの必要容量
4Ω~16Ω	120W以上

■接続例



特にご注意ください..

- ローインピーダンススピーカーとハイインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。
- 多数のスピーカーを接続するときは、全スピーカーの合成インピーダンスが4Ω以下にならないようにしてください。
- 使用するスピーカーの定格入力は、スピーカー1個に加わる入力W数より大きいものを使用してください。

スピーカー配線材の太さと配線可能距離のめやす

ローインピーダンス(4~16Ω)の場合

芯線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm	φ2.6mm
距離	7m	10m	13m	23m	40m	60m

ハイインピーダンスの場合

芯線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm	φ2.6mm
42Ωの場合の延長距離	90m	140m	250m	380m	650m
83Ωの場合の延長距離	145m	180m	280m	500m	770m	1.3km

故障かな?と思われましたら

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

⚠ 警告 ●次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
●本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。

症 状	点 検 項 目	対 策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
スピーカーより音がでない	スピーカーは確実に接続されていますか。	確認してください。
音がわる	出力レベル表示灯の赤色LEDが常時、点灯していませんか。	赤色LEDが常時、点灯しないように音量を調節してください。
雑音がでる	本機やスピーカーコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか。	ノイズを発生する機器から遠ざけてください。

ノイズ対策について

外来ノイズの影響を受けないために、配線については次のような点にご注意ください。

マイクケーブルは必ずシールド線を使用します。
配管をアース 近づけない
近づけない

◆入力線のノイズ対策
調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし、離して布線してください。

近づけない
近づけない
離す

◆スピーカー線のノイズ対策
スピーカー線は調光器、水銀灯などの系統線とは離して布線してください。

近づけない
近づけない
別系統とする

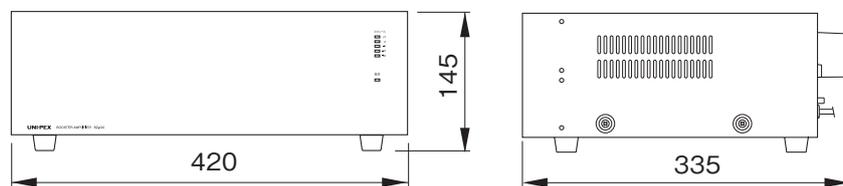
◆電源のとりかた
電源は調光器、水銀灯などの系統とは必ず別にしてください。それでも不十分な場合はアンプへのAC100V電源線にノイズフィルタを入れてください。

◆携帯電話の使用について

本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。本機を使用中に携帯電話を使用される場合は充分ご注意ください。

外観寸法図

(単位:mm)



定格

品番	BZ-120
使用電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	110W(電気用品安全法による測定方法に基づく)
消費電流	AC 3.6A以下(定格出力時)
定格出力	120W
出力負荷	83Ω(ハイインピーダンス100系)
インピーダンス	4~16Ω(ローインピーダンス)
ひずみ率	0.5%以下 (1kHz定格出力時)
周波数特性	50Hz~20kHz ±3dB(定格出力 -10dB時、増設入力)
入力感度及びインピーダンス	増設入力 : 約-22dBV~18dBV 10kΩ 電子平衡(出荷時-2dBVに調節) 100系入力: 約100V 20kΩ 平衡
動作表示	電源表示「緑」×1 出力レベル表示「緑」×4、「赤」×1
使用温度範囲	-10℃~+50℃
外装	パネル: 鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック半艶塗装 カバー: ビニールラミネート鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック
外形寸法	幅 420mm 高さ 145mm 奥行 335mm
質量	約 8.5kg
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、束線用バンド 2

サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX **0120-56-5245** 通話料無料
お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）
PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

卓上形増設用 PAアンプ BZ-120 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)